

# 式年遷宮に向けて

ご神木のお祭り		前回の日程
山口祭	新宮の御用材を伐り出すに当たり、御杣山の山の口に坐す神に伐採と搬出の安全を祈ります。	平成17年5月
木本祭（このもとさい）	御正殿の御床下に奉建する心御柱の御用材を伐採するにあたり、その木の本に坐す神を祀ります。	平成17年5月
御杣始祭（みそまはじめさい）	御用材を木曾の御杣山で正式に伐り始めるお祭りです。	平成17年6月
御樋代木 奉曳式（みひしろぎ ほうえいしき）	御杣山で伐採された御樋代のための御用材を、内宮と外宮の両宮域内の五丈殿前に曳き入れる儀式です。	平成17年6月
御船代祭（みふねしろさい）	御樋代をお納めする器である「御船代」の御用材を伐採するお祭りです。	平成17年9月
御木曳初式（おきひきぞめしき）	御杣山より伐り出された御用材を、内宮と外宮の両宮に曳き入れる伝統行事です。	平成18年4月
木造始祭（こづくりはじめさい）	御造営の作業を始めるに際し、作業の安全を祈るお祭りです。	平成18年4月
御木曳行事（第一次）	神領民と全国の崇敬者により、御用材を古式のままに両宮域内へ曳き入れる盛大な行事です。	平成18年5月～7月
仮御樋代木 伐採式（かりみひしろぎ ばっさいしき）	「遷御」の際に御神体を納める「仮御樋代」の御用材を伐採するにあたり、木の本に坐す神をお祀りし、忌斧を入れる式です。	平成18年5月
御木曳行事（第二次）	神領民と全国の崇敬者により、御用材を古式のままに両宮域内へ曳き入れる盛大な行事です。	平成19年5月～7月
社殿建築のお祭り		前回の日程
鎮地祭	新宮を建てる新御敷地で行われる最初のお祭りです。	平成20年4月
宇治橋渡始式	内宮の入口に架かる宇治橋は、遷宮の度に架け替えが行われ、古式ゆかしく渡り始めが行われます。	平成21年11月
立柱祭	御正殿の建築はじめに際し、御柱を建てるお祭りです。	平成24年3月
御形祭（ごぎょうさい）	御正殿の東西の妻の束柱に円形の図様を穿つお祭りです。	平成24年3月
上棟祭	御正殿に棟木を上げるお祭りです。	平成24年3月
檐付祭（のきつけさい）	御正殿の御屋根の萱を葺き始めるお祭りで、屋船大神に祈りが捧げられます。	平成24年5月
萱祭（いらかさい）	御正殿の萱も葺きおわり、金物を打つお祭りです。	平成24年7月
御白石持行事	神領民が新宮に御白石を奉獻する行事です。	平成25年7月～8月
御戸祭（みとさい）	御正殿の御扉を立てるお祭りで、扉に鑰穴を穿ちます。	平成25年9月
御船代 奉納式	御神体のお鎮まりになる「御船代」を刻み、御正殿に奉納します。	平成25年9月
洗清（あらいきよめ）	新殿の竣工にあたり殿内と殿外を洗い清める儀式です。	平成25年9月
心御柱奉建（しんのみはしらほうけん）	心御柱は正殿の御床下に建てられる特別な御柱で、忌柱、天ノ御量柱とも呼ばれます。心御柱の奉建は、遷宮諸祭の中でも一際重んじられる秘儀です。	平成25年9月
杵築祭（こつきさい）	新殿の竣工を祝し、大宮処を撞き固めるお祭りです。	平成25年10月
後鎮祭	新宮の竣工に際し、御正殿の床下に天平瓮を奉居するお祭りです。大宮処の平安を祈った鎮地祭の対になるお祭りです。	平成25年10月
神遷しのお祭り		前回の日程
御装束神宝読合（おんしょうぞくしんぼうとくごう）	天皇陛下より大御神に献ぜられる御装束神宝を、新宮の四丈殿において、式目に照らし読み合わせる儀式です。	平成25年10月
川原大祓	遷御の前日、仮御樋代・仮御船代や御装束神宝を始め、遷御に奉仕するすべての奉仕員を「川原祓所」で祓い清める儀式です。	平成25年10月
御飾（おかざり）	遷御当日、新調された御装束で殿内を装飾し、大御神にお遷りいただく準備をする儀式です。	平成25年10月
遷御	大御神が本殿から新殿へとお遷りになる式年遷宮の中核をなすお祭りです。	平成25年10月
大御饌	遷御の翌日の早朝、新殿において初めて大御神に神饌を奉るお祭りです。	平成25年10月
奉幣	古くは「一社奉幣」と称され、遷御とともに一際重んじられてきたお祭りです。天皇陛下より奉られる幣帛を奉納し、その後五丈殿で饗膳の儀が行われます。	平成25年10月
古物渡（こもつわたし）	古殿内の神宝類を新宮の西宝殿に移す儀式です。	平成25年10月
御神楽御饌	御神楽を執り行うに先立ち、大御神に神饌を奉るお祭りです。	平成25年10月
御神楽	新宮の四丈殿において、天皇陛下がお遣わしになった宮内庁楽師が御神楽を奉納します。遷宮諸祭の最後を飾るお祭りです。	平成25年10月